

愛知県厚生農業協同組合連合会
江南厚生病院
公的医療機関等2025プラン

平成29年 12月 策定

目 次

基本情報	1
1 現状と課題	2
① 構想区域の現状	2
② 構想区域の課題	6
③ 自施設の現状	6
④ 自施設の課題	13
2 今後の方針	14
① 地域において今後担うべき役割	14
② 今後持つべき病床機能	14
③ その他見直すべき点	14
3 具体的な計画	15
① 4機能ごとの病床のあり方について	15
② 診療科の見直しについて	15
③ その他の数値目標について	15
4 その他	16

【江南厚生病院の基本情報】

医療機関名	: J A 愛知厚生連 江南厚生病院	
開設主体	: 厚生連	
開設年月日	: 平成20年5月1日	
所在地	: 愛知県江南市高屋町大松原137	
敷地・建物	敷地面積	80,375.4 m ² (保育所・看護師宿舎・看護学校含む)
	建物面積	27,883.7 m ² (附属建物含む)
	延床面積	79,816.8 m ² (附属建物含む)
病床数	: 684床 (一般: 630床 療養: 54床) ※平成29年9月より病床種別は療養のまま地域包括ケア病棟へ転換	
病床機能別	: 高度急性期: 48床 急性期: 582床 慢性期: 54床	
診療科目	: 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科 腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、内科(緩和ケア)、精神科、小児科、 外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、 整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、 眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、 臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、形成外科、小児外科 (33科)	
主たる指定	: 保険医療機関、地域中核災害拠点病院、救命救急センター、救急告示病院 (二次)、地域周産期母子医療センター、臨床研修指定病院(基幹型)、 歯科臨床研修指定病院、病院機能評価認定病院(3rdG:Ver.1.0)、卒後臨 床研修評価認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定施設	
入院料	一般病棟	: 7対1入院基本料
	: ICU	: 特定集中室管理料
	: NICU	: 新生児特定集中治療室管理料
	: GCU	: 新生児治療回復室入院医療管理料
	: 緩和ケア病棟	: 緩和ケア病棟入院料
	: 地域包括ケア病棟	: 地域包括ケア病棟入院料2
医療機関群	: DPC医療機関群Ⅲ	

1. 現状と課題

(1) 尾張北部医療圏の現状

① 人口及び高齢化の推移

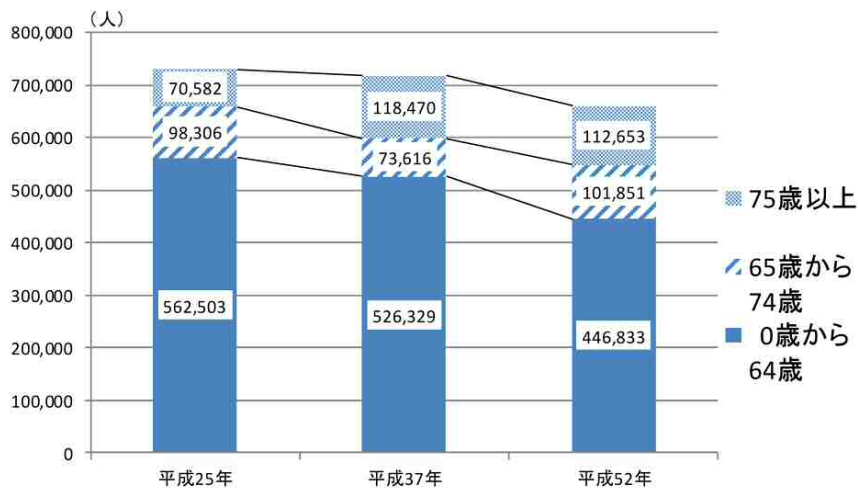
総人口は、県全体とほぼ同様の推移で減少していきます。65歳以上人口は、増加していきませんが、増加率は県全体より低くなっています。75歳以上人口は、平成37年(2025年)に向け大きく増加し、その後、平成52年(2040年)に向けて減少傾向に転じます。

<人口の推移>

※ () は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
尾張北部	731,391 (1.00)	718,415 (0.98)	661,337 (0.90)	168,888 (1.00)	192,086 (1.14)	214,504 (1.27)	70,582 (1.00)	118,470 (1.68)	112,653 (1.60)

<尾張北部構想区域>



資料：平成28年愛知県地域医療構想

② 当院の診療圏人口及び高齢化の推移

江南厚生病院としての診療圏は、外来・入院ともに受診患者の約80%を占めている江南市、扶桑町、犬山市、大口町、岩倉市の5市町となります。愛知県、尾張北部医療圏、江南厚生病院の診療圏の人口を比較してみると、2010年を基準として2025年では愛知県99.2%、尾北98.3%、江南96.6%、2040年では愛知県92.5%、尾北90.5%、江南87.8%と江南厚生病院の診療圏人口は最も減少すると予想されます。同様に高齢化率は、2025年では愛知県26.4%、尾北26.7%、江南27.8%、2040年では愛知県32.4%、尾北32.4%、江南33.4%となり、高齢化も進んでいく地域となっています。

また、当院まで30分で移動できる地域の人口推計でみると、尾張西医療圏、岐阜医療圏の一部が含まれますが、さらに高齢化が進む地域となっています。

○市町村別実患者数 (平成28年度)

(人)

	外来		入院	
	実患者数	構成比	実患者数	構成比
江南市	49,456	49.1%	6,302	46.4%
扶桑町	12,166	12.1%	1,568	11.6%
犬山市	10,156	10.1%	1,484	10.9%
大口町	6,228	6.2%	807	5.9%
岩倉市	4,410	4.4%	695	5.1%
小牧市	1,183	1.2%	175	1.3%
春日井市	215	0.2%	36	0.3%
その他	16,861	16.7%	2,508	18.5%
全体	100,675	100.0%	13,575	100.0%

○愛知県の将来人口推計

(人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0-14	1,065,579	1,030,195	971,450	901,046	834,881	799,049	775,871
15-64	4,839,167	4,650,983	4,561,255	4,503,760	4,383,472	4,167,735	3,860,538
65以上	1,505,973	1,789,229	1,907,699	1,943,329	1,994,794	2,079,641	2,219,223
計	7,410,719	7,470,407	7,440,404	7,348,135	7,213,147	7,046,425	6,855,632
2010年比	100%	100.8%	100.4%	99.2%	97.3%	95.1%	92.5%
高齢化率	20.3%	24.0%	25.6%	26.4%	27.7%	29.5%	32.4%

○尾張北部医療圏の将来人口推計

(人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0-14	109,234	104,386	97,497	89,780	82,561	78,704	76,642
15-64	470,665	448,729	440,258	436,549	425,876	403,270	370,191
65以上	151,073	181,158	192,093	192,086	193,428	200,186	214,504
計	730,972	734,273	729,848	718,415	701,865	682,160	661,337
2010年比	100.0%	100.5%	99.8%	98.3%	96.0%	93.3%	90.5%
高齢化率	20.7%	24.7%	26.3%	26.7%	27.6%	29.3%	32.4%

○江南厚生病院の診療圏（5市町計）の将来人口推計

(人)

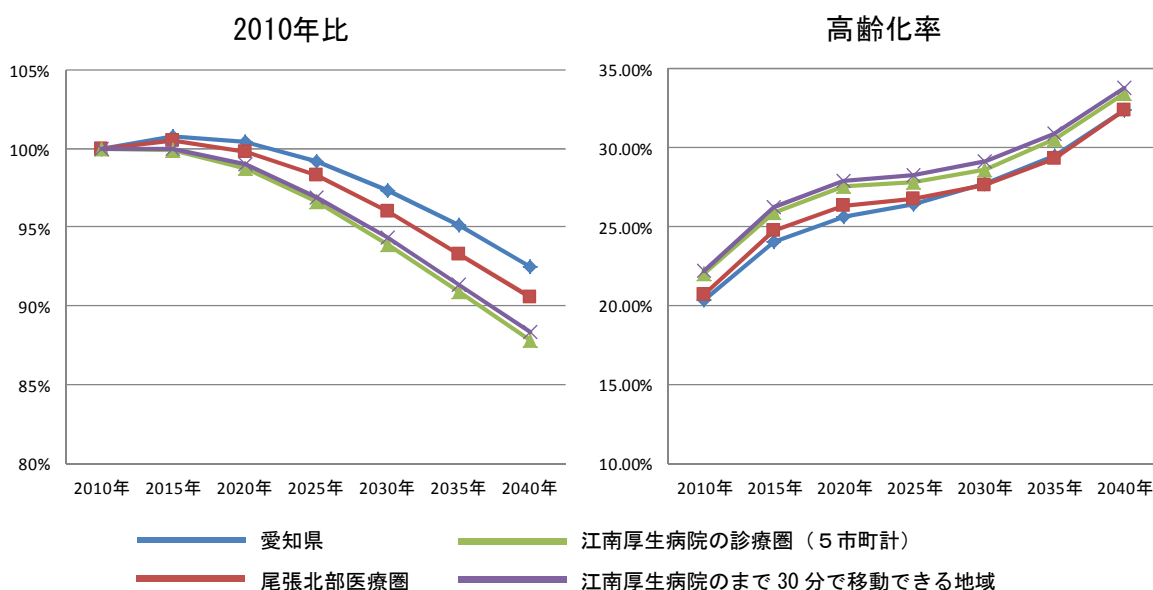
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0-14	40,885	38,668	35,750	32,741	30,018	28,586	27,812
15-64	176,101	167,148	163,369	161,380	156,511	147,231	134,891
65以上	61,285	72,107	75,552	74,800	74,890	77,110	81,510
計	278,271	277,923	274,671	268,921	261,419	252,927	244,213
2010年比	100.0%	99.9%	98.7%	96.6%	93.9%	90.9%	87.8%
高齢化率	22.0%	25.9%	27.5%	27.8%	28.6%	30.5%	33.4%

○江南厚生病院まで30分で移動できる地域の将来人口推計

(人)

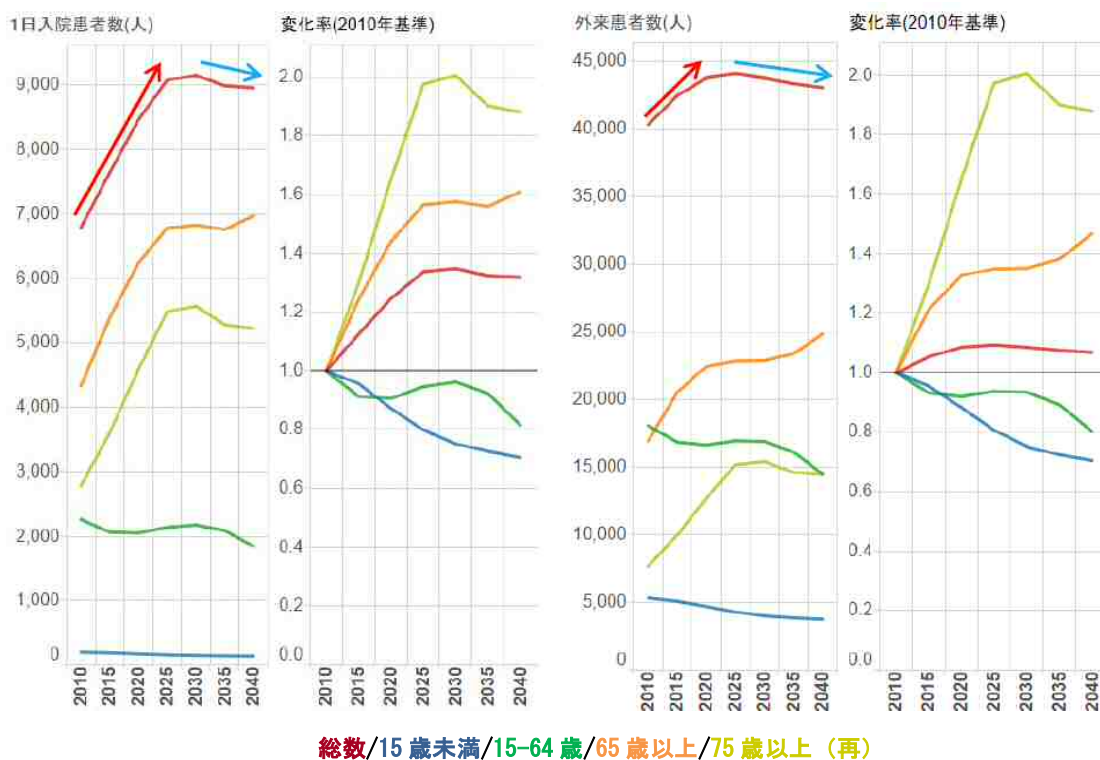
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0-14	57,653	54,555	50,268	45,991	42,196	40,179	39,074
15-64	244,069	231,741	226,606	223,808	217,009	204,563	187,489
65以上	86,208	101,761	107,030	106,229	106,567	109,566	115,809
計	387,930	388,057	383,903	376,027	365,772	354,308	342,372
2010年比	100.0%	100.0%	99.0%	96.9%	94.3%	91.3%	88.3%
高齢化率	22.2%	26.2%	27.9%	28.2%	29.1%	30.9%	33.8%

資料：国立社会保障・人口問題研究所、日本の地域別将来推計人口
石川ベンジャミン光一「診療圏（30分）の人口推計」



④ 医療圏内の将来入院・外来患者数推計

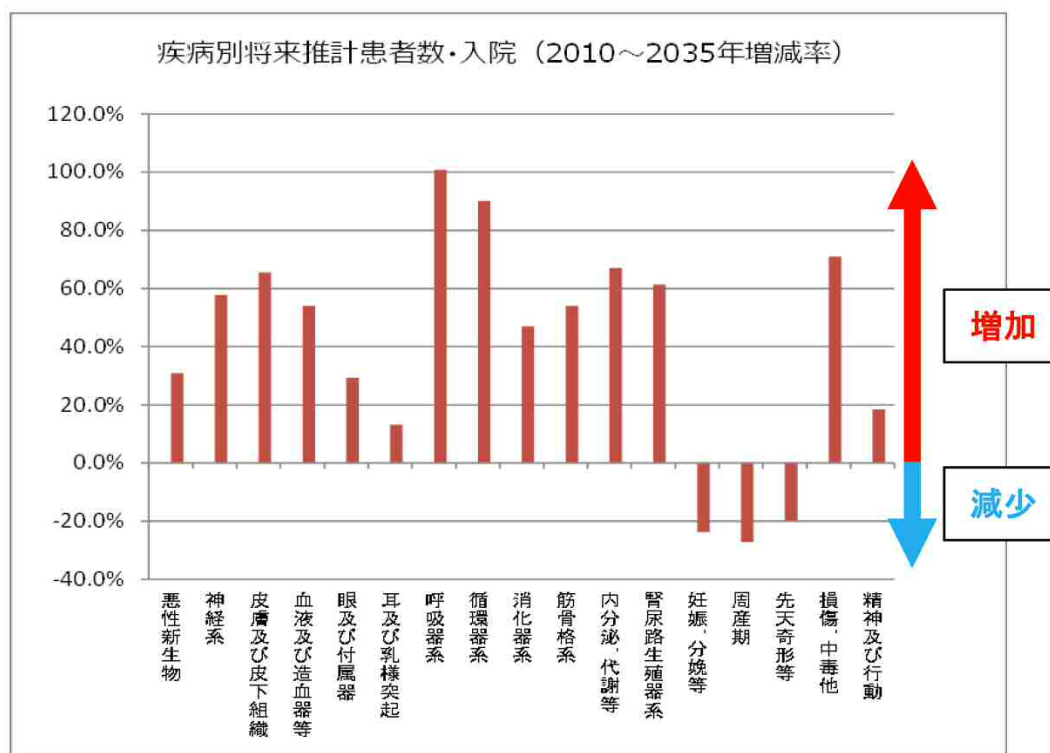
入院患者数・外来患者数は高齢患者の急激な増加に伴って、2025年頃まで増加し、その後、微減すると推測できます。



資料：石川ベンジャミン光一「地域別人口・入院患者数推計」「地域別人口・外来患者数推計」

⑤ 疾病別将来推計患者数（入院）

呼吸器系や循環器系など、多くの疾病で入院患者数が増加する一方、周産期、妊娠・分娩等の疾病で、減少することが予想されます。



資料：「二次医療圏別疾病別将来推計患者数分析ツール」より作成

⑥ 医療資源等の状況

人口10万対の病院数は、県平均の70.5%と少なくなっていますが、有床診療所数は149.1%と非常に多くなっています。また、人口10万対の病院の病床数は県平均の86.8%ですが、有床診療所の病床数は県平均の154.0%になっています。人口10万対の医療従事者については、医師数が県平均の75.8%と少なくなっていますが、他は概ね9割程度になっています。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	尾張北部②	②/①
病院数	325	23	—
人口10万対	4.4	3.1	70.5%
診療所数	5,259	466	—
有床診療所	408	60	—
人口10万対	5.5	8.2	149.1%
歯科診療所数	3,707	339	—
人口10万対	49.9	46.4	93.0%
病院病床数	67,579	5,772	—
人口10万対	908.9	789.2	86.8%
一般病床数	40,437	3,409	—
人口10万対	543.9	466.1	85.7%
療養病床数	13,806	1,203	—
人口10万対	185.7	164.5	88.6%
精神病床数	13,010	1,154	—
人口10万対	175.0	157.8	90.2%
有床診療所病床数	4,801	728	—
人口10万対	64.6	99.5	154.0%

区分	愛知県①	尾張北部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	1,098	—
人口10万対	197.9	150.1	75.8%
病床100床対	20.3	16.9	83.3%
医療施設従事歯科医師数	5,410	488	—
人口10万対	72.8	66.7	91.6%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	925	—
人口10万対	141.6	126.5	89.3%
病院従事看護師数	36,145	3,092	—
人口10万対	486.1	422.8	87.0%
病床100床対	49.9	47.6	95.4%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	3	—
面積(k㎡)	5,169.83	295.96	—

資料：平成28年愛知県地域医療構想

⑦ 入院患者の受療状況

入院患者の自域依存率は、4機能区分とも80%前後で高くなっています。また、県外からの流入も多くみられます。

<平成25年度の尾張北部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地														
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	合計	
尾張北部医療圏	高度急性期	63	*	*	23	*	288	*	*	*	*	0	*	*	374
		16.8%	—	—	6.1%	—	77.0%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	124	*	*	51	34	928	*	*	*	*	0	*	*	1,137
		10.9%	—	—	4.5%	3.0%	81.6%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	回復期	117	*	*	32	44	925	*	*	*	*	0	*	*	1,118
		10.5%	—	—	2.9%	3.9%	82.7%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
慢性期	47	*	15	24	49	600	*	*	*	*	*	*	15	750	
	6.3%	—	2.0%	3.2%	6.5%	80.0%	—	—	—	—	—	—	2.0%	100.0%	

<平成25年度その他医療圏から尾張北部医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	合計
尾張北部医療圏	高度急性期	16	*	19	*	14	288	*	*	*	*	*	*	337
		4.7%	—	5.6%	—	4.2%	85.5%	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	48	*	46	*	31	928	*	*	*	*	*	44	1,097
		4.4%	—	4.2%	—	2.8%	84.6%	—	—	—	—	—	4.0%	100.0%
	回復期	56	*	46	18	33	925	*	*	*	*	*	69	1,147
		4.9%	—	4.0%	1.6%	2.9%	80.6%	—	—	—	—	—	6.0%	100.0%
慢性期	84	*	25	11	35	600	14	13	*	13	*	*	127	922
	9.1%	—	2.7%	1.2%	3.8%	65.1%	1.5%	1.4%	—	1.4%	—	—	13.8%	100.0%

資料：平成28年愛知県地域医療構想

⑧ 病床数

平成27年時点の病床数（2016年病床機能報告の結果）と平成37年（2025年）必要病床数の推計の比較をすると、尾張北部医療圏では9床過剰です。機能別にみると、高度急性期が132床過剰、急性期が910床過剰、慢性期が233床過剰であり、回復期が1,266床不足しています。

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
平成37年の必要病床数①	565	1,822	1,789	1,209	5,385
平成27年病床機能報告	679	2,663	510	1,406	5,258
平成27年の病床数②	697	2,732	523	1,442	5,394
差引（①－②）	△132	△910	1,266	△233	△9

資料：平成28年愛知県地域医療構想

（2）尾張北部医療圏の課題

ケアミックス病院が多く立地しているものの、全病床に占める急性期病床または療養病床の割合が高く、回復期病床の割合が低くなっています。急性期・慢性期医療が充実している一方、回復期医療が不足しているため、今後、回復期への機能転換または増床が求められると考えられます。

（3）当院の現状

① 江南厚生病院理念

- 一、 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一、 私たちは患者さんの安心と信頼を得るよう努力します
- 一、 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

② 基本方針（平成28年4月1日改定）

（1）高度・専門医療

高度・専門医療を提供することで、尾張北部を中心とした地域の中核病院としての役割を担う。

（2）救命救急、災害医療

救命救急センターとして、24時間体制で救急医療を提供する。災害時には、地域中核災害拠点病院の役割を担う。

（3）市民病院的な役割

地域住民が安心して暮らせるよう、不採算医療を含む様々な病気に対応できる診療体制を整え、安全で質の高い医療を提供する。

（4）教育研修病院

臨床研修指定病院として、また、各種学会認定の研修施設として、広く医療及び医療従事者の資質向上に努める。

（5）地域連携

地域の医療機関や福祉施設等との連携強化を図ると共に、医療福祉関係者との研修、人的交流を通じて地域の医療福祉の向上に努める。

（6）予防医療

健康管理センターを中心に健診の質向上を図り、生活習慣病を軸とした保健活動に力を入れ、また、疾病の早期発見に努める。

③ 職員数 (5月1日現在)

(人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
医師	118	120	121	122	121
歯科医師	3	3	3	3	3
研修医	26	22	20	21	26
看護職	717	729	746	741	748
薬剤師	35	38	44	46	45
放射線技師	34	33	34	33	34
検査技師	50	49	52	51	51
理学・作業・言語療法士	29	29	29	30	30
管理栄養士・栄養士	12	10	11	10	10
MSW・CE	40	41	42	45	45
事務員	96	97	99	100	101
技能職・作業職	160	161	175	174	177
計	1,320	1,332	1,376	1,376	1,401

④ 診療実績

○患者数

【外来患者数】

(人)

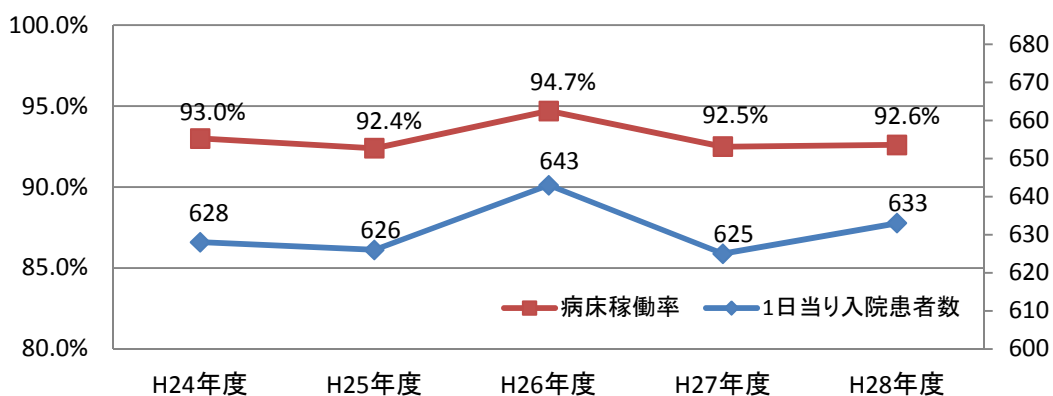
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内科	173,216	171,249	173,074	173,116	163,770
小児科	33,595	31,881	32,293	32,690	31,085
外科	19,221	20,652	20,078	20,831	21,344
整形外科	44,504	48,900	49,286	49,585	49,227
脳神経外科	10,193	10,087	9,701	9,582	10,020
皮膚科	26,003	23,954	23,333	21,923	11,236
泌尿器科	22,772	22,533	22,640	22,607	21,117
産婦人科	20,725	21,561	20,877	22,935	23,020
眼科	23,113	23,412	24,799	25,006	23,134
耳鼻科	23,532	22,273	21,013	22,132	21,484
放射線科	4,002	3,728	2,906	3,601	3,641
歯科口腔外科	10,519	11,663	10,758	11,362	10,934
合計	411,395	411,893	410,758	415,370	390,012

【入院患者数】

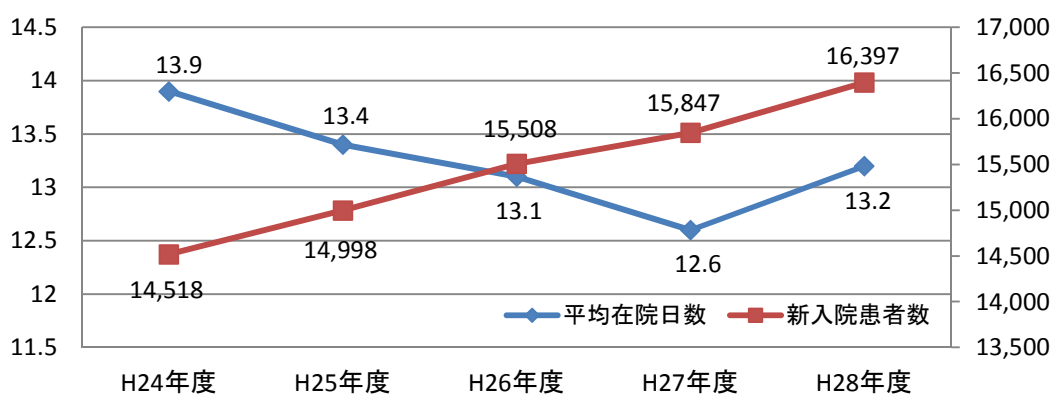
(人)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
内科	117,869	118,933	117,725	115,456	114,547
小児科	21,966	20,989	22,528	22,190	23,417
外科	19,239	20,695	21,699	19,239	21,238
整形外科	31,880	30,782	33,700	31,170	31,802
脳神経外科	6,415	5,854	6,463	6,946	8,159
皮膚科	1,902	1,437	1,946	958	235
泌尿器科	8,400	8,226	7,578	7,302	7,196
産婦人科	13,564	13,487	14,104	16,009	15,340
眼科	3,108	2,947	3,474	4,089	3,410
耳鼻科	3,467	3,336	3,717	3,822	3,770
放射線科	—	—	—	—	—
歯科口腔外科	1,550	1,788	1,667	1,599	1,976
合計	229,360	228,474	234,601	228,780	231,090

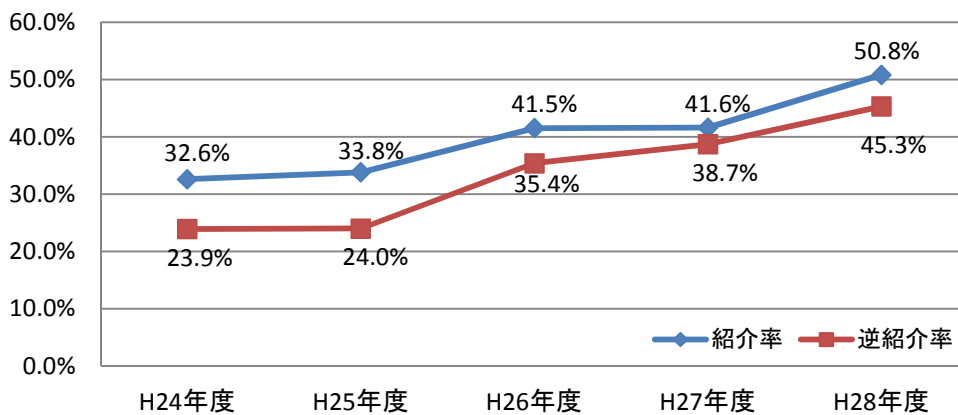
○病床稼働率／1日当り入院患者数



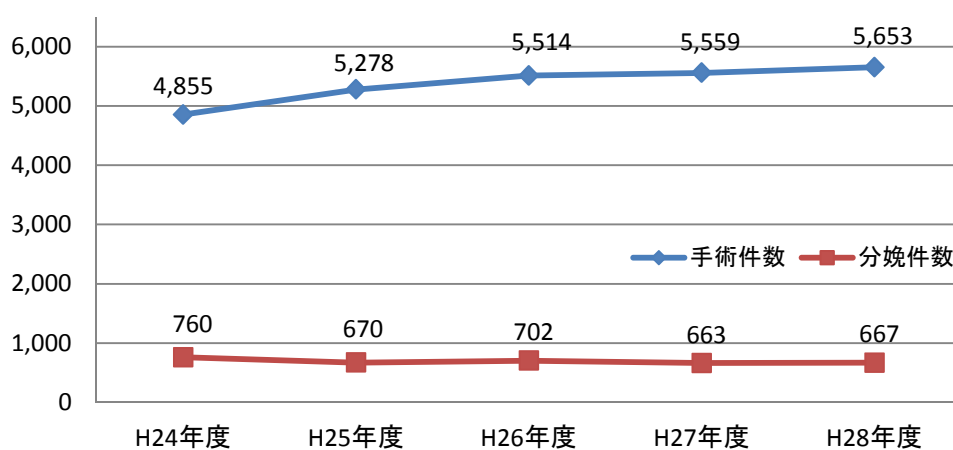
○平均在院日数／新入院患者数



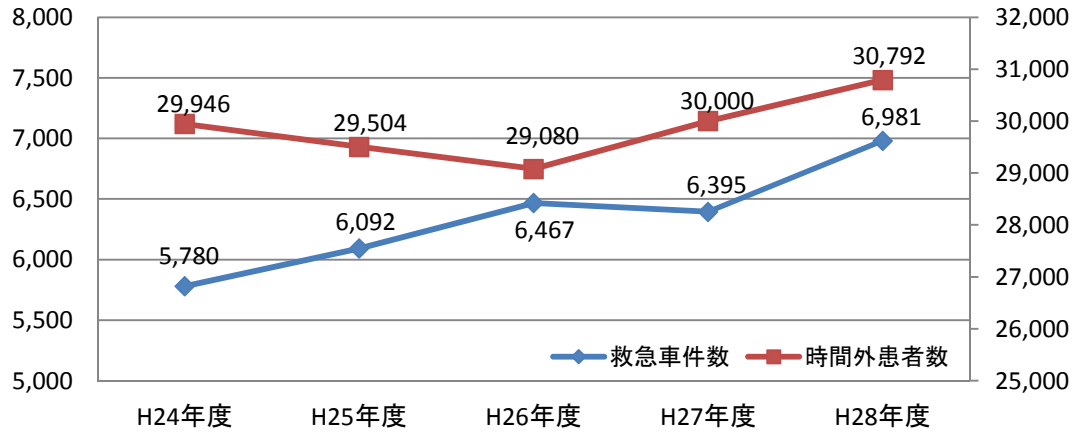
○紹介率／逆紹介率



○手術件数／分娩件数



○救急車件数

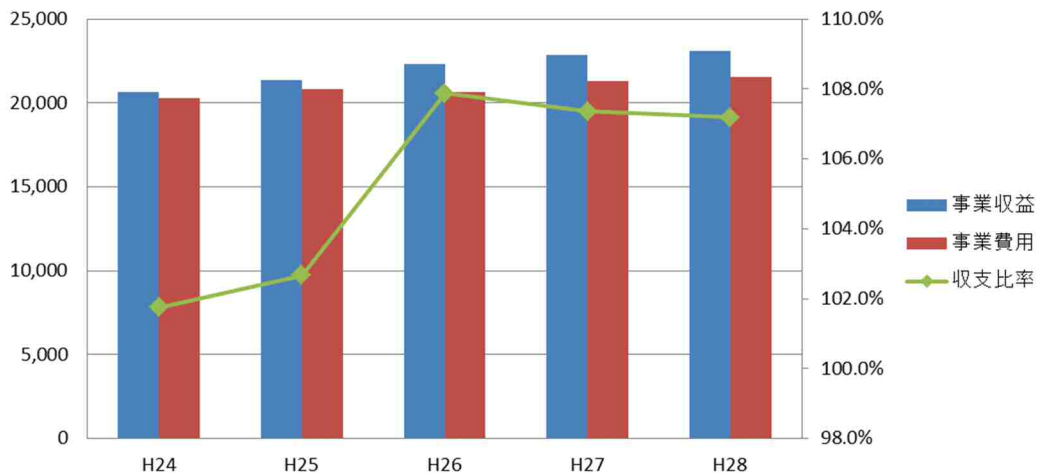


⑤ 経営状況

○外来・入院単価

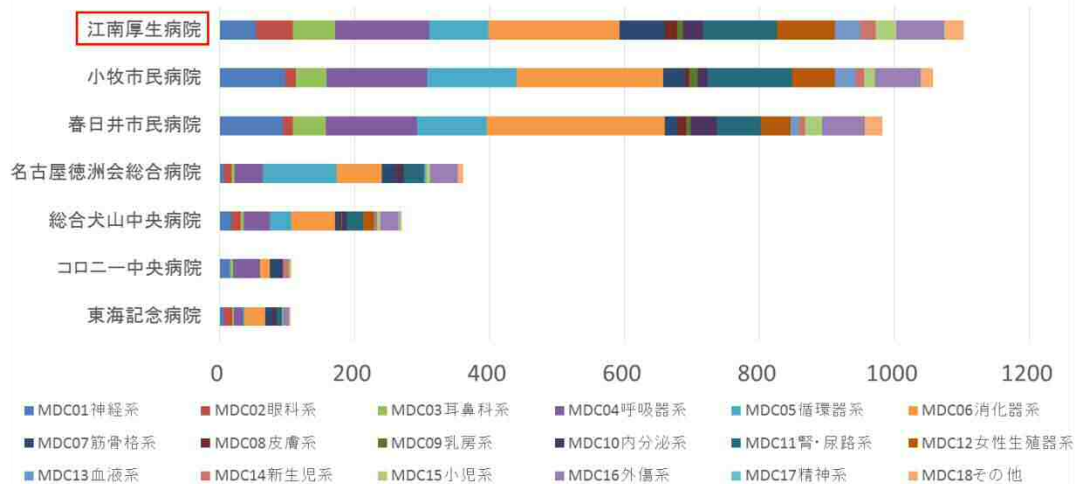
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 (予算)
外来単価	16,884	17,833	18,617	20,081	20,481	20,610
入院単価	53,585	55,309	56,261	57,096	58,752	59,416

○経常収支比率



⑥ MDC件数比較

尾張北部医療圏の1か月あたりの診療実績(H26DPC公開データより)

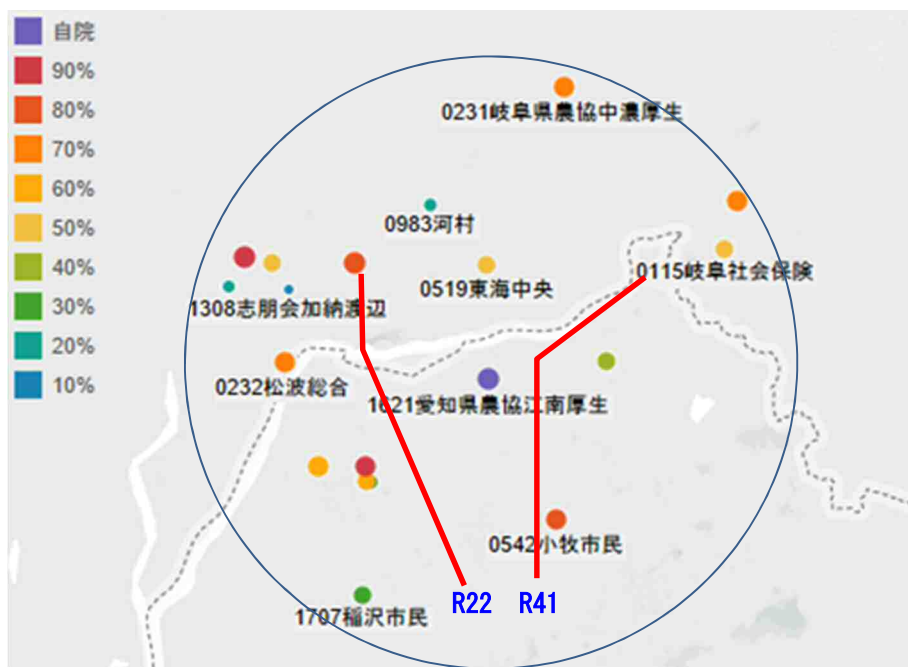


資料：厚労省「平成27年度第7回診療報酬調査専門組織・DPC分委会」より JA 全厚連作成

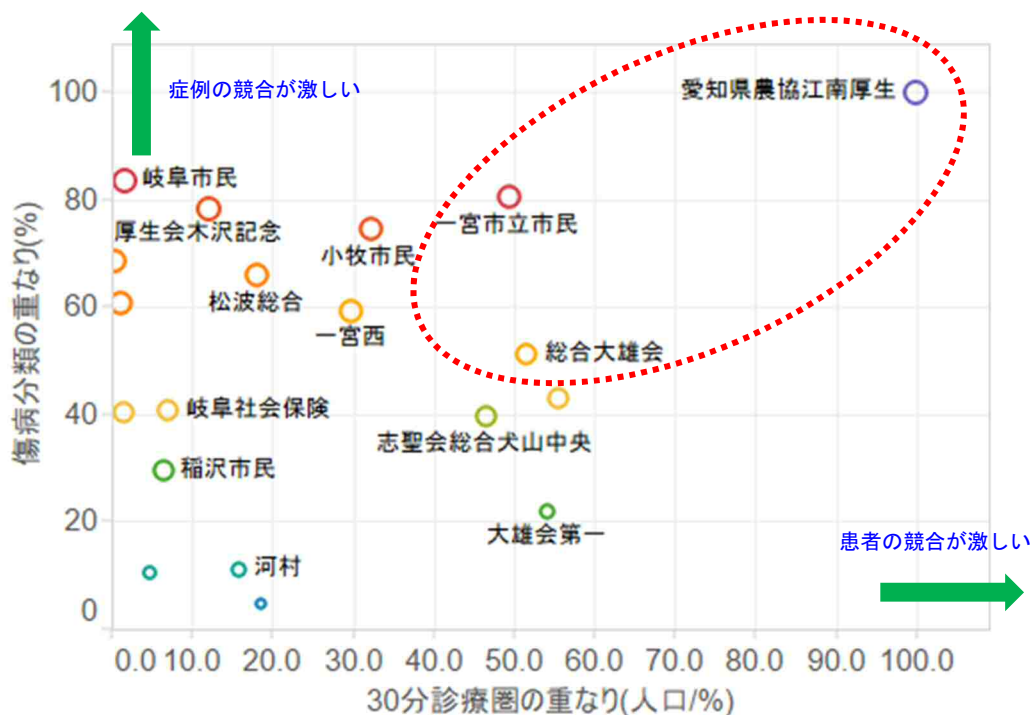
⑦ 患者及び症例の競合（DPC病院のみ）

当院と30分診療圏、疾病分類の重なりが大きい（競合している）主な病院は、隣接する尾張西部医療圏の一宮市立市民病院、総合大雄会病院ですが、国道22号、国道41号に挟まれた立地条件から他院と比較して競合病院は少なくなっています。

○30分医療圏（27.7万人）を共有する施設



○30分診療圏の重なりと傷病分類の重なり



資料：石川ベンジャミン光一「診療圏（30分）を共有施設」（DPC病院のみ）

⑧ 診療圏内の主な病院の状況

※丸囲み数字は、項目ごとの順位

【急性期中心】	江南厚生病院	小牧市民病院	春日井市民病院	名古屋徳洲会総合病院	総合犬山中央病院
許可病床数	684	558	556	350	316
一般病床	① 630	② 558	③ 556	⑤ 300	④ 316
療養病床	⑩ 54			⑫ 50	
高度急性期	48	394	220	8	
	ICU NICU	救命救急 7対1	7対1 ICU	ICU	
急性期	582	164	336	280	268
	7対1	7対1 緩和ケア	7対1	7対1 緩和ケア	7対1
回復期					48
					リハ
慢性期	54			50	
	地域包括2			療養2	
不稼働病床数	0	0	0	12	0
医師数(総数)	② 150	① 173	③ 133	⑤ 40	⑥ 38
100床あたり医師数	21.9	31.0	23.9	11.4	12.0
年間延べ患者1万人あたり医師数	7	10.2	8.7	21.3	4.8
看護師数(常勤)	① 690	② 528	③ 497	⑤ 186	⑥ 115
在棟患者延べ数(H25.7~H26.6)	① 215,064	② 169,925	③ 152,407	⑫ 18,794	⑥ 79,482
新規入棟患者数(H25.7~H26.6)	① 19,235	② 17,899	③ 16,697	⑦ 1,502	⑤ 4,899
うち予定外の救急医療入院	③ 2,549	② 3,758	① 4,637	⑥ 470	④ 1,739
DPC群の種類	Ⅲ群	Ⅱ群	Ⅲ群	Ⅲ群	
地域医療支援病院		○	○		
がん診療連携拠点病院		地域	県指定		
地域がん診療病院					
救命救急センター	○	○	○		
周産期母子医療センター	地域	地域			
基幹・地域災害拠点病院	地域	地域	地域		
へき地医療拠点病院					
江南厚生病院までの移動時間	-	25分	34分	35分	19分

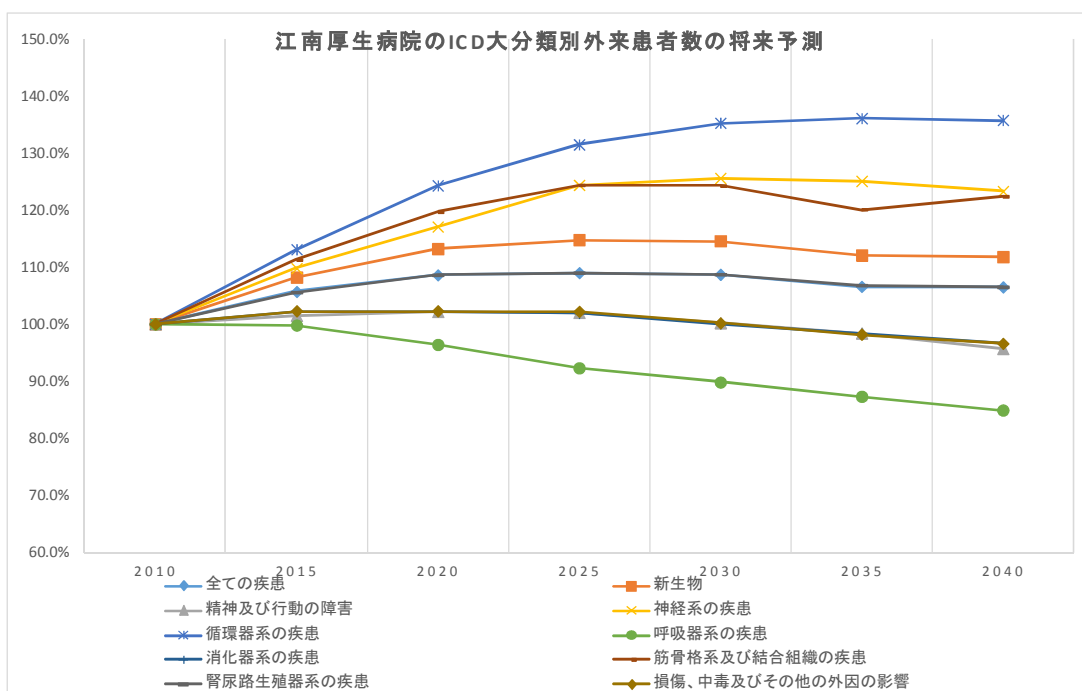
【ケアミックス】	コロニー中央病院	さくら総合病院	東海記念病院	岩倉病院	小牧第一病院
許可病床数	315	390	199	141	170
一般病床	⑥ 290	⑦ 232	⑧ 149	⑨ 120	⑩ 110
療養病床		③ 158	⑫ 50	⑬ 21	⑧ 60
高度急性期		54			
		療養2			
急性期	110	232	149	60	53
	HCU 小児	10対1	10対1	10対1	13対1
回復期		54	50	60	
		リハ	リハ	リハ	
慢性期	180	50		21	117
	障害	療養2		療養1	療養2
不稼働病床数	29				
精神病床	25				
医師数(総数)	⑦ 27	④ 51	⑧ 19	⑩ 14	⑪ 13
100床あたり医師数	8.6	13.1	9.5	9.9	7.6
年間延べ患者1万人あたり医師数	3.5	3.9	3.3	3.7	3.4
看護師数(常勤)	④ 220	⑧ 93	⑦ 98	⑭ 28	⑪ 34
在棟患者延べ数(H25.7~H26.6)	⑦ 78,011	④ 132,014	⑧ 57,141	⑪ 38,216	⑩ 38,560
新規入棟患者数(H25.7~H26.6)	⑧ 1,186	④ 9,072	⑥ 2,248	⑨ 1,149	⑪ 1,006
うち予定外の救急医療入院	⑧ 243	⑤ 1,584	⑦ 362	- 0	⑨ 54
DPC群の種類					
地域医療支援病院					
がん診療連携拠点病院					
地域がん診療病院					
救命救急センター					
周産期母子医療センター					
基幹・地域災害拠点病院					
へき地医療拠点病院					
江南厚生病院までの移動時間	37分	16分	37分	22分	26分

資料：全国地域別・病床機能情報等データベース（H26）、医療機能情報提供制度 等
移動時間はGoogleマップのルート検索より算出

⑨ 将来患者数

患者数は、人口は減少していきますが、高齢化の進展に伴い医療需要が増加することから、全ての疾患の平均で、外来・入院それぞれ2010年と比べ、2025年は109%・137%、2040年は106%・148%と特に入院が大幅に増加すると予想しています。

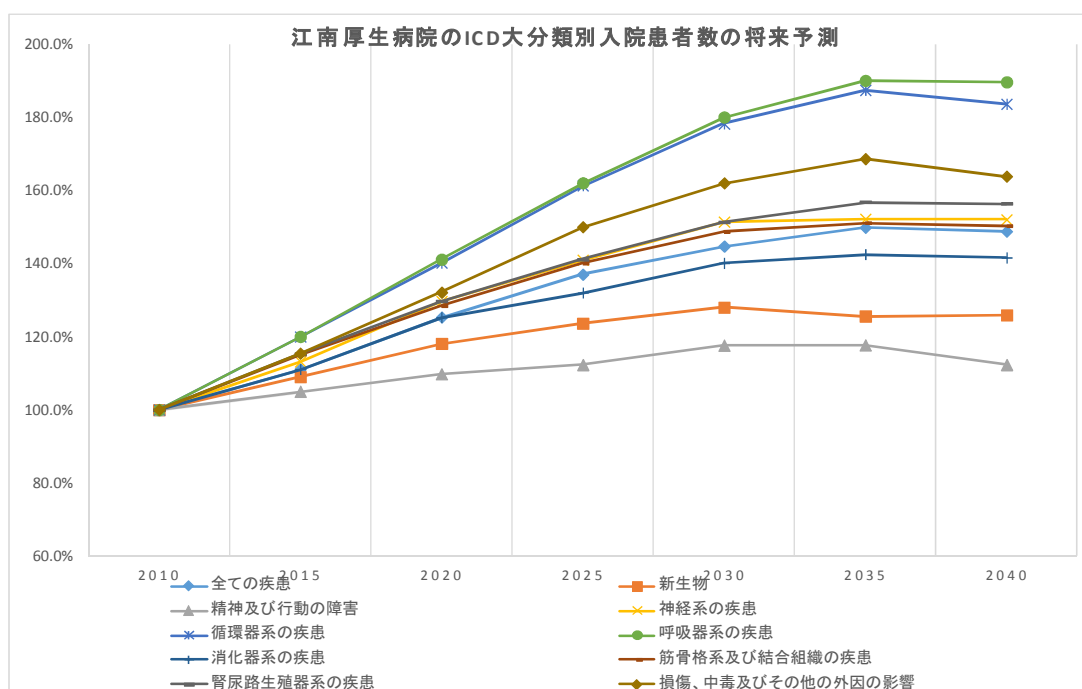
○外来患者数予測



	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
新生物	123,689	133,832	140,016	141,995	141,748	138,656	138,284
精神及び行動の障害	440	447	450	449	441	433	421
神経系の疾患	6,965	7,648	8,156	8,665	8,748	8,713	8,588
循環器系の疾患	52,537	59,419	65,304	69,086	71,083	71,503	71,345
呼吸器系の疾患	46,973	46,879	45,282	43,356	42,182	41,008	39,880
消化器系の疾患	28,741	29,402	29,402	29,287	28,770	28,252	27,764
筋骨格系及び結合組織の疾患	29,770	33,134	35,635	37,034	37,005	35,754	36,439
腎尿路生殖器系の疾患	22,658	23,927	24,607	24,697	24,629	24,199	24,131
損傷、中毒及びその他の外因の影響	29,262	29,935	29,935	29,905	29,320	28,735	28,267
その他	67,928	67,652	65,349	61,296	60,619	58,703	60,427
全ての疾患	408,964	432,275	444,135	445,771	444,544	435,956	435,547

資料：医療圏現状と将来予測

○入院患者数予測



	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
新生物	70,519	76,866	83,283	87,161	90,264	88,572	88,783
精神及び行動の障害	251	264	276	282	295	295	282
神経系の疾患	3,971	4,495	5,150	5,599	6,012	6,044	6,036
循環器系の疾患	29,953	35,944	41,994	48,314	53,376	56,132	54,994
呼吸器系の疾患	26,781	32,137	37,788	43,385	48,206	50,884	50,777
消化器系の疾患	16,386	18,205	20,532	21,630	22,957	23,350	23,203
筋骨格系及び結合組織の疾患	16,973	19,553	21,793	23,762	25,239	25,646	25,510
腎尿路生殖器系の疾患	12,918	14,894	16,755	18,227	19,545	20,255	20,204
損傷、中毒及びその他の外因の影響	16,683	19,252	22,038	25,025	27,026	28,128	27,327
その他	38,728	37,434	42,544	46,048	44,466	49,972	49,831
全ての疾患	233,163	259,044	292,153	319,433	337,387	349,278	346,947

資料：医療圏現状と将来予測

⑩ 5 疾病 5 事業への対応

がん治療については、今後増加していくがん患者に適切な治療（外科的手術、内視鏡手術、化学療法、放射線治療、緩和ケア等）を提供できるよう、愛知県がん診療拠点病院の平成 30 年度指定を目指して取り組んでいます。また、厚生労働省の患者調査によると、高齢者の増加に伴い、悪性新生物、高血圧症、脳卒中、心疾患、糖尿病、骨折、眼疾患、認知症等の患者が増加すると予測されます。そのため、医師の確保と、高齢化に伴い増加する脳卒中、急性心筋梗塞、骨折等に対する治療方法に対応できるよう診療機能を充実していきます。

さらに、増加傾向にある救急搬送患者に対応するために、救命救急センターとして救急体制を充実していくとともに、地域周産期母子医療センターおよび災害拠点病院としての機能を維持していきます。

○近隣病院のがん患者数と診療実績比較（平成 27 年実績）

	江南厚生病院	がん診療拠点病院		
		小牧市民病院	春日井市民病院	一宮市立市民病院
新入院がん患者数	2,980	4,736	2,169	2,265
外来がん患者のべ数	78,091	105,341	45,621	97,844
院内がん登録数（新規）	1,539	1,671	1,366	1,452
がん手術件数	1,083	1,131	519	682
化学療法のべ患者数	1,087	1,134	828	1,003
放射線治療のべ患者数	212	634	185	496

資料：がん診療連携拠点病院現況報告書

⑪ 地域連携への取り組み

国の社会保障制度改革の方向性は、「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実」として、「外来医療の機能分化・連携」「医療機関相互の連携、医療・介護の連携」の推進により、病院完結型の医療から地域完結型の医療への転換を進めており、当院でも地元行政、地域の医療機関、福祉施設等との連携を更に強化し、地域のニーズに応じた地域包括ケアシステムに参画していきます。

当院の診療情報を公開する地域医療ネットワークシステム（こうせいネット）の利用を拡大し、より多くの医療機関、福祉施設等で参照できるようにしていきます。また、地域の医療関係者等との症例検討会、勉強会等を開催するなど連携を強化することで地域医療全体の質の向上を図っていきます。

（４）当院の課題

開院時からの課題ですが、心臓血管外科、神経内科、精神科等の常勤医師が不在です。診療機能の維持、向上のため、積極的に大学医局等に働きかけていますが、まだ確保できていません。

近隣の病院と一部診療機能の重複はありますが、前述のとおり、恵まれた立地条件から他院と比較して競合病院は少ないため、今後も現行の体制を維持していきます。

2. 今後の方針

(1) 地域において今後担うべき役割

① 基本姿勢

当院は、平成20年の開院以来、尾張北部医療圏の北部地域（江南、大口、扶桑、犬山）において、唯一の大規模・高機能の中核病院として、医療機能の向上、医療の質の向上、医療安全に努め、急性期から慢性期に至る医療を提供してきました。

今後も地域住民が安心して生活できるよう、現在の急性期を中心とした医療の継続を基本とし、地域に必要な救急医療及び高度専門医療を十分に発揮し得る体制整備を進めるとともに、地元行政、地域の医療機関、福祉施設等との連携を強化し、「地域とともに地域を考え、地域医療を守る」ことを基本姿勢としていきます。

② 外来機能

2025年における外来患者数予測は約445千名（2010年対比109% 37千名増）となっており、増加する外来患者を全て当院で受け入れるためには、外来機能の拡充が必要となります。

しかし、国の政策動向は前述のとおり、病院完結型の医療から地域完結型の医療への転換を進めており、当院も病診連携を強化することで、増加する入院患者に保有資源を投入できるよう、外来の機能を専門特化していく必要があります。重症な外来患者を残し、軽症患者・症状が安定した患者は積極的に開業医等に逆紹介することで、地域完結型医療を目指します。

また、診療体制は現行の診療科を維持していくことを原則とし、増加する認知症等に対応できる体制を整えていきます。

③ 入院機能

2025年における入院患者数予測は約319千名（2010年対比137% 86千名増）となっており、現状の病床利用率・平均在院日数では病床数が不足する状況となります。

しかし、前述のとおり尾張北部医療圏は、2025年に医療需要がピークとなり、その後減少に転じることから、当面増床や現状の病床機能は変更せず、病病連携・病診連携の推進により平均在院日数を短縮することで対応していきます。ただし、少子高齢化に伴う疾病構造の変化に対応するために、必要に応じて診療科毎の病床数を見直していく必要はあります。なお、増加する入院患者を受け入れるためには、最終的に平均在院日数を9日近くにまで短縮する必要があります。

そのため、地域の慢性期病院との連絡会議を設置し、後方病院との連携を密にしていくことで、退院支援体制を強化していきます。

④ まとめ

当院は、移転新築により高機能化を図り、大型の施設整備、医療従事者の確保、施設基準の取得等により診療機能の充実を図ってきました。医療を取り巻く環境が厳しくなり、今後も診療報酬の大幅増加は望めませんが、2025年に向け、少子高齢化に伴う医療需要の変化に対応すべく、必要な診療科を充実し、診療機能を確保することで地域の中核病院としての役割を果たしていきます。

また、愛知県厚生連における経営基盤の安定化に向けて、回収力を伸ばしていく使命もあることから、今後も広く地域ニーズを収集し、収入の向上に期待できる分野については迅速果敢な対応を行っていきます。

(2) 今後持つべき病床機能

当院は、尾張北部医療圏の北部地域から尾張西部医療圏、岐阜医療圏の一部地域までの広範囲にわたる基幹病院として、急性期医療、高度・専門医療の更なる充実を図るとともに、質が高く安全な医療を提供していくことでこの地域の医療を守っていく使命があります。地域医療支援病院指定も視野に入れ、今後も現状通り、急性期を中心に地域の医療を担っていく方針に変わりはなく、病床機能の変更は考えておりません。平成29年9月1日より、療養病床54床を病床種別は療養のまま、地域包括ケア病床に転換し運用を開始しております。

(3) その他見直す点

特に見直すべき点はありません。

3. 具体的な計画

(1) 4機能ごとの病床のあり方について

① 現在及び将来の病床機能（平成29年度病床機能報告）

当面、病床機能の変更は考えておりません。

	現在 (平成29年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	48床	→	48床
急性期	582床		582床
回復期	0床		0床
慢性期	54床		54床
(合計)	684床		684床

(病棟別)

病棟	主たる診療科等	病床数	病床機能		
			現在	6年後	2025年
3F西病棟	HCU(救急)	24	高度急性期	高度急性期	高度急性期
3F西病棟	ICU	6	高度急性期	高度急性期	高度急性期
3F南病棟	循環器センター	50	急性期	急性期	急性期
4F東病棟	内科・整形	54	急性期	急性期	急性期
4F西病棟	地域包括ケア病棟	54	慢性期	慢性期	慢性期
5F西病棟	女性病棟	45	急性期	急性期	急性期
5F南病棟	NICU	6	高度急性期	高度急性期	高度急性期
5F南病棟	GCU	12	高度急性期	高度急性期	高度急性期
5F東病棟	こども医療センター	51	急性期	急性期	急性期
6F西病棟	脊椎・脊髄センター	53	急性期	急性期	急性期
6F南病棟	内科・皮膚科・泌尿器科	53	急性期	急性期	急性期
6F東病棟	外科	53	急性期	急性期	急性期
7F西病棟	内科	53	急性期	急性期	急性期
7F南病棟	内科	53	急性期	急性期	急性期
7F東病棟	脳・眼・耳・歯科	51	急性期	急性期	急性期
8F西病棟	緩和ケア病棟	20	急性期	急性期	急性期
8F東病棟	血液細胞療法センター	46	急性期	急性期	急性期

684

② 診療科の見直しについて

現在、診療科の見直しは検討しておりません。

(3) その他の数値目標について

① 医療提供に関する項目

○紹介率・逆紹介率

将来的に地域医療支援病院指定を目指し、地域医療ネットワークシステム「こうせいネット」の内容充実と地域医療情報システム「メディマップ」の導入、地域医療機関の訪問等を行いました。紹介率65%以上(H29.9 55.5% H28年度 50.3%)、逆紹介率40%以上(H29.9 52.9% H28年度 46.4%)を目標に、更に地域連携を強化していきます。

○病床稼働率

現状で90%以上を継続していますが、今後も90%以上を目指し、クリニカルパスの見直し、拡大により効率的な病床管理を行っていきます。

○手術室稼働率

H25年度 53.3%、H26年度 52.7%、H27年度 49.3%、H28年度 49.7%で、準備時間、入退室時間は除いているため50%前後を推移しています。簡単な手術や午前中の手術を増やせば稼働率は上がりますが、60%を超えると緊急手術など対応できなくなるため、今後も現状+α程度を目標としていきます。

② その他

「地域医療介護総合確保基金」については、平成29年度は医療従事者の確保に関する事業（病院内保育所運営助成事業及び新人看護職員研修事業）について利用いたします。

4. その他

なし